



2026年12月期 第2四半期

決算説明資料

株式会社スペース

プライム市場：9622

INDEX

第1部

2026年度第2四半期 決算の概要

- 4 業績ハイライト
- 5 営業利益増減分析
- 6 売上総利益推移
- 7 外注費推移
- 8 販売費及び一般管理費推移
- 9 四半期業績推移

第3部

2026年度 業績予想

- 21 2026年度 上期実績
- 22 2026年度 業績予想
- 23 配当予想

第2部

2026年度第2四半期 事業の概況

- 11 市場分野について
- 12 売上高推移（市場分野別）
- 13 売上高（市場分野別）
- 14 四半期受注高・受注残高推移
- 15 市場分野別受注残高
- 16-17 受注案件の状況
- 18-19 事業の成長に向けて



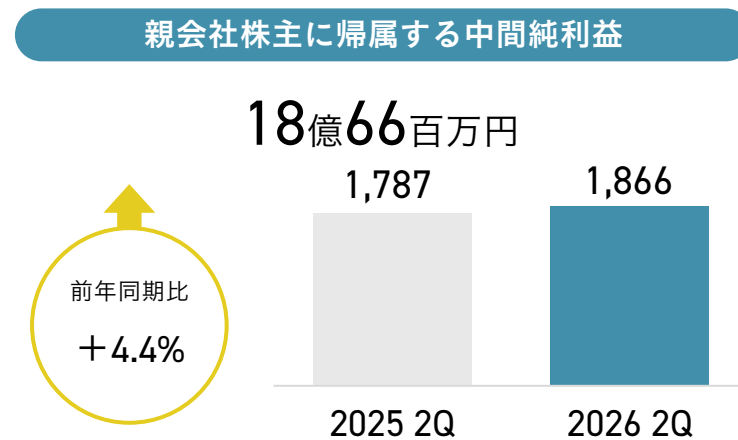
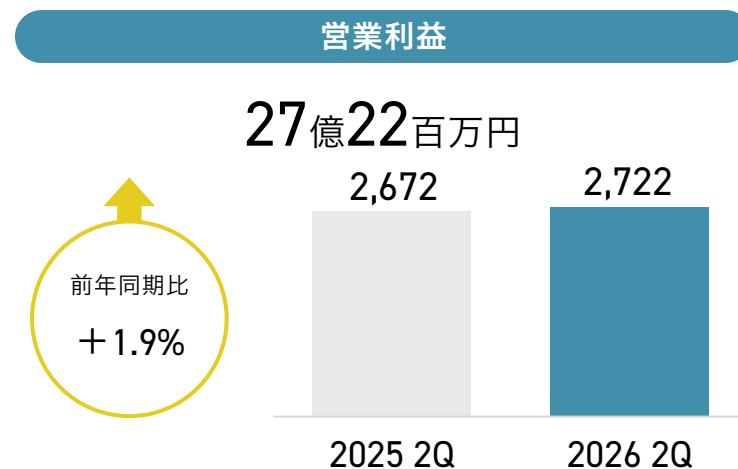
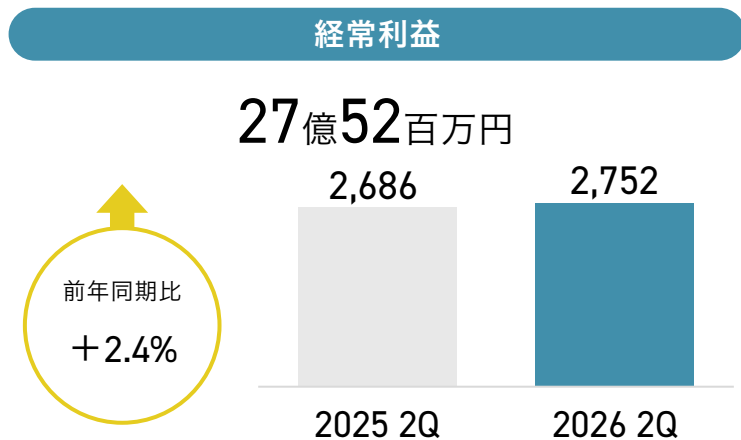
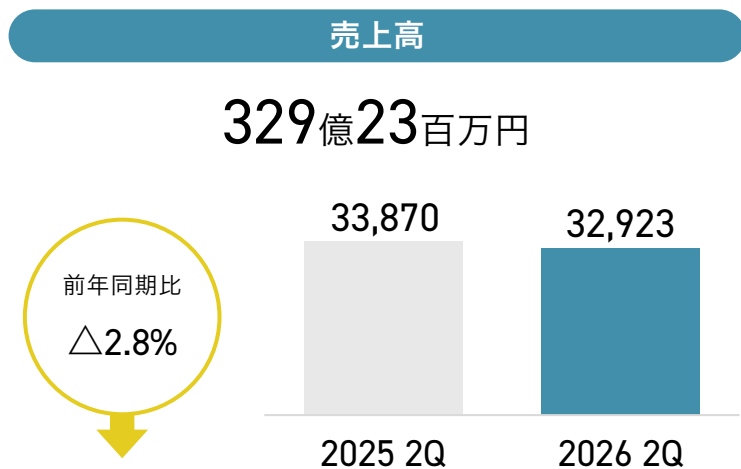
第1部

2026年度第2四半期 決算の概要

- 4 業績ハイライト
- 5 営業利益増減分析
- 6 売上総利益推移
- 7 外注費推移
- 8 販売費及び一般管理費推移
- 9 四半期業績推移

業績ハイライト

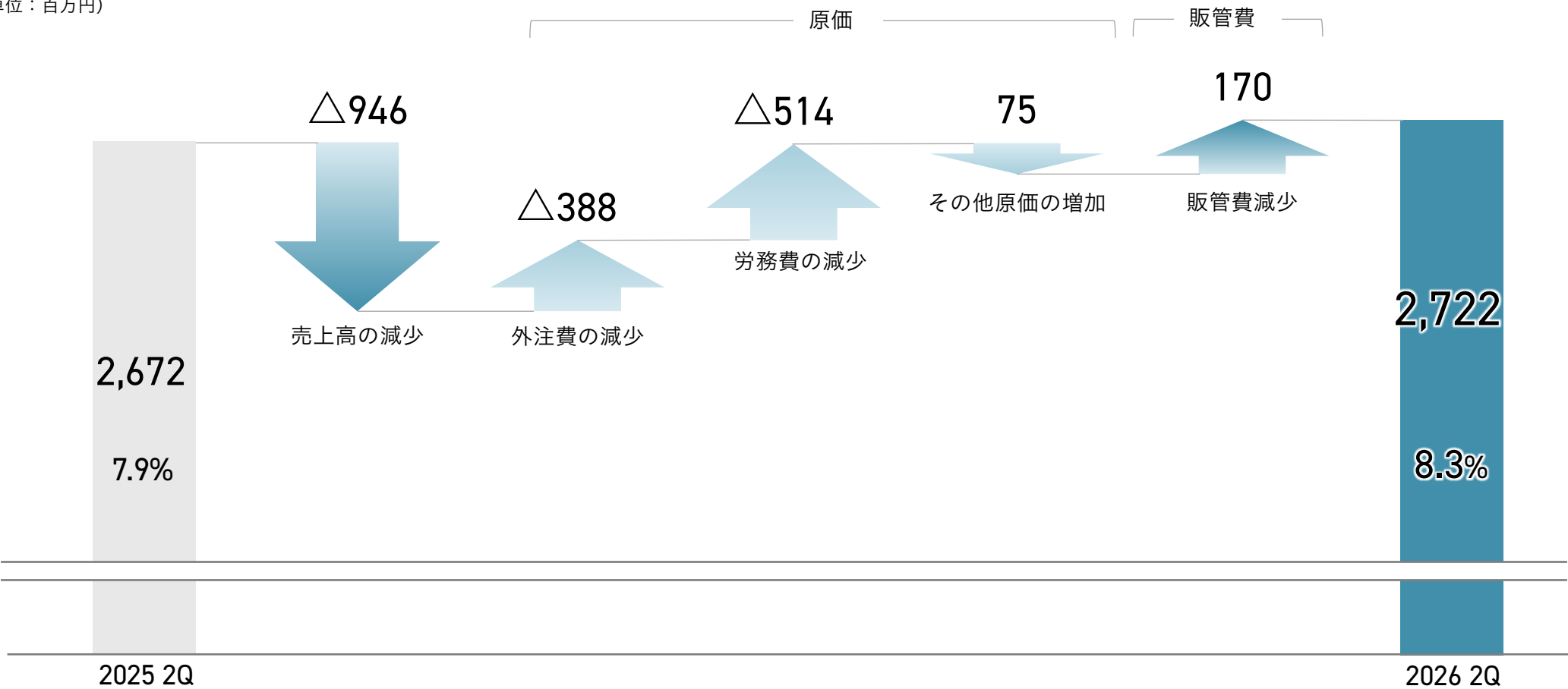
各種専門店分野が堅調に推移した一方、複合商業施設・総合スーパー分野の減少により、売上高は前年同期比2.8%減
案件ごとの提案精度向上やプロジェクト推進力の強化を通じて採算性の向上を図った結果、各段階利益は前年同期を上回る



営業利益増減分析

販管費の減少により、営業利益率は前年同期比で0.4ポイント増加
 売上総利益率は前年同期と同程度の水準を維持しているため、引き続き付加価値提案による利益向上に努めていく

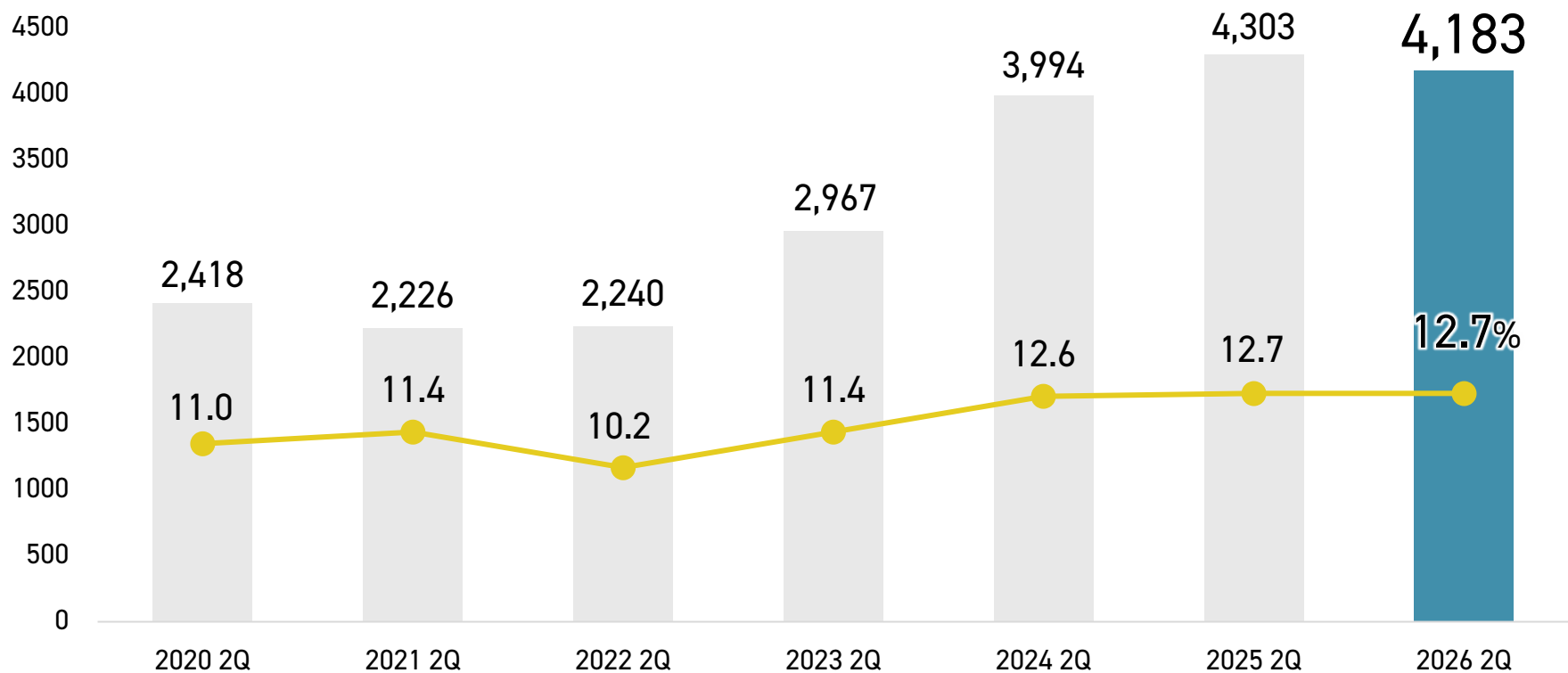
(単位：百万円)



売上総利益推移

売上高の減少により売上総利益は減少したものの、売上総利益率は高水準で推移

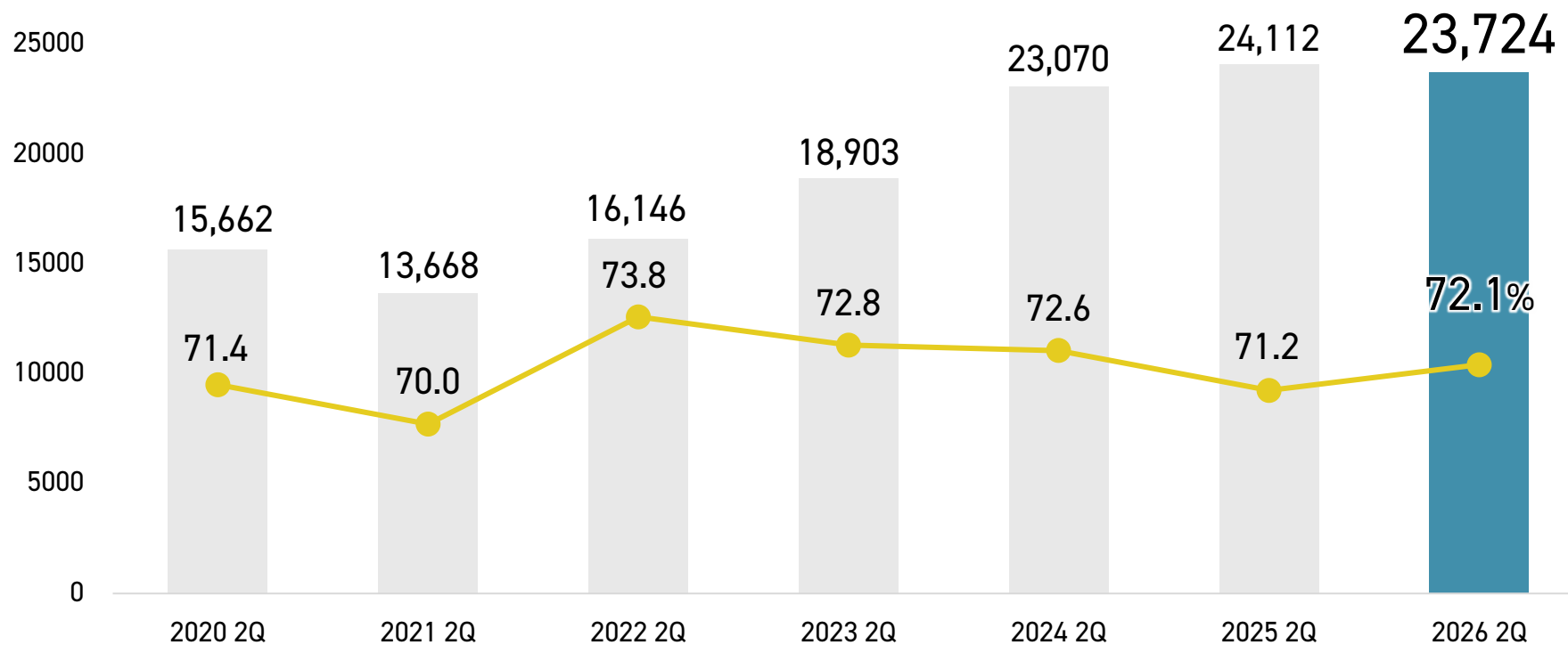
(単位：百万円) ■ 売上総利益 — 売上総利益率 (%)



外注費推移

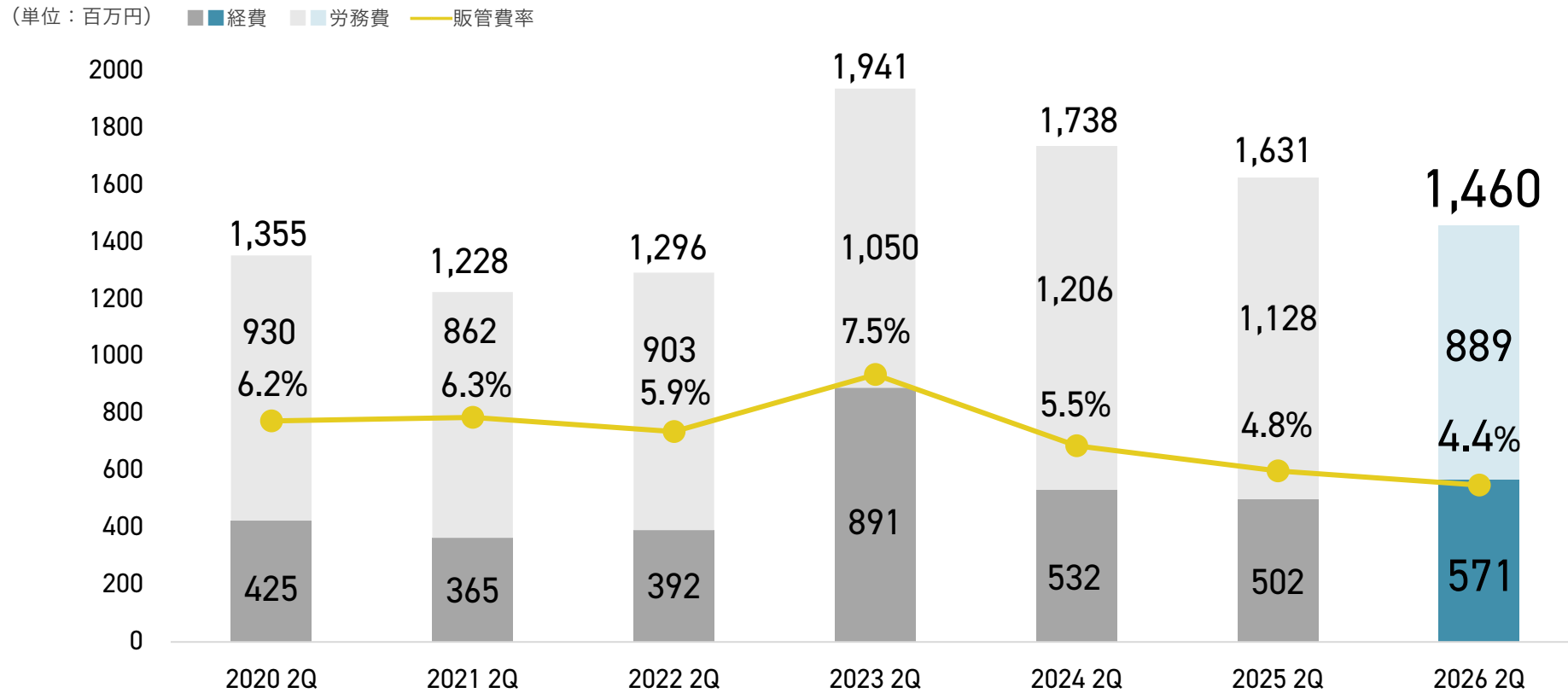
売上高の減少により外注費は前年同期比で1.6%減少したものの、外注費率は前年同期比で0.9ポイント上昇

(単位：百万円) ■ 外注費 ▲ 外注費率 (%)

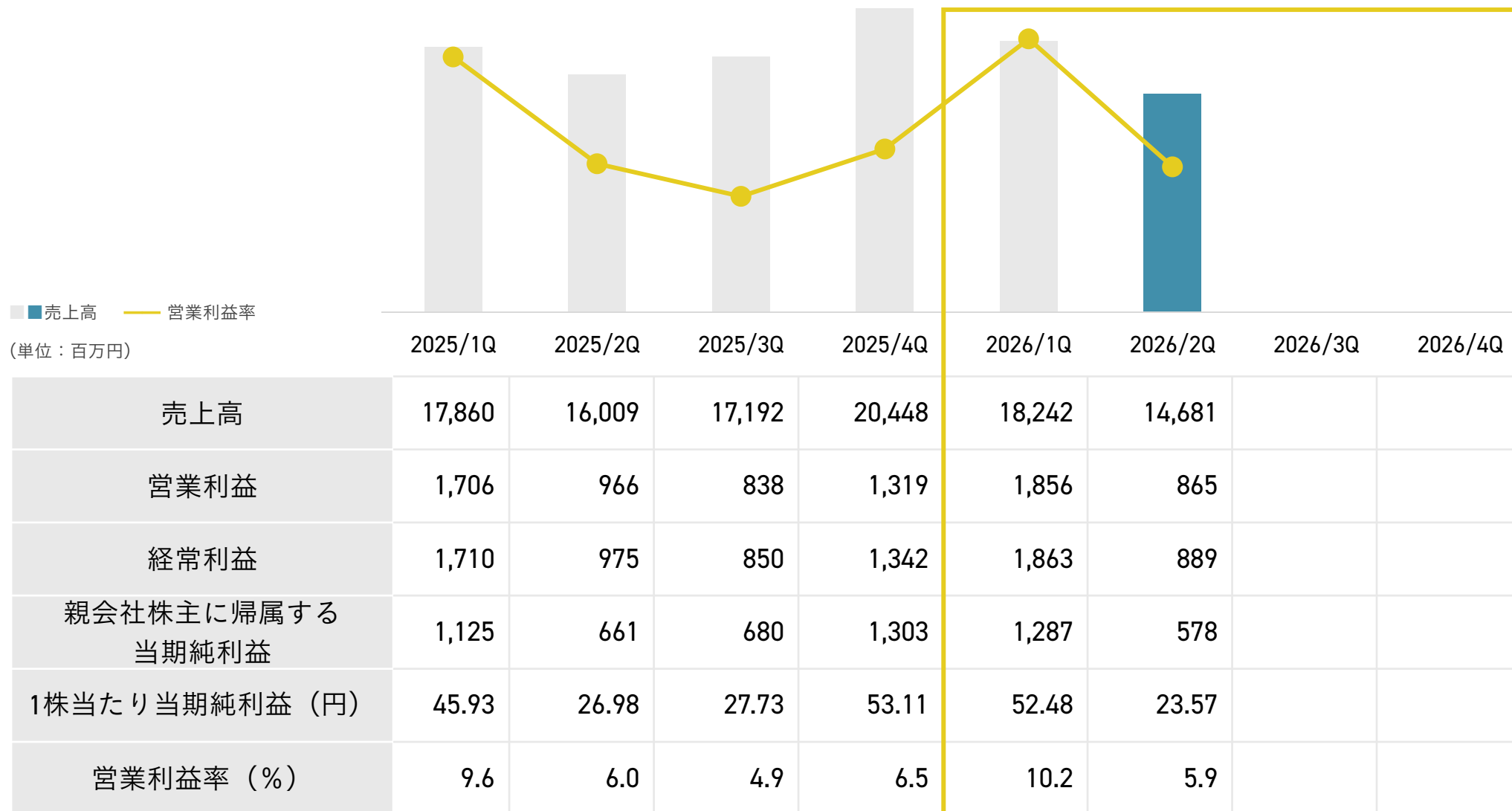


販売費及び一般管理費推移

業務効率化に伴うシステム費の計上により経費は増加したものの、
開発部門費用の原価計上に伴う労務費の減少により、販管費は前年同期を下回る結果となった



四半期業績推移





第2部

2026年度第2四半期 事業の概況

- 11 市場分野について
- 12 売上高推移（市場分野別）
- 13 売上高（市場分野別）
- 14 四半期受注高・受注残高推移
- 15 市場分野別受注残高
- 16-17 受注案件の状況
- 18-19 事業の成長に向けて

市場分野について

複合商業施設・総合スーパー



サービス等



食品スーパー・コンビニエンスストア



商空間
プロデュース企業



各種専門店



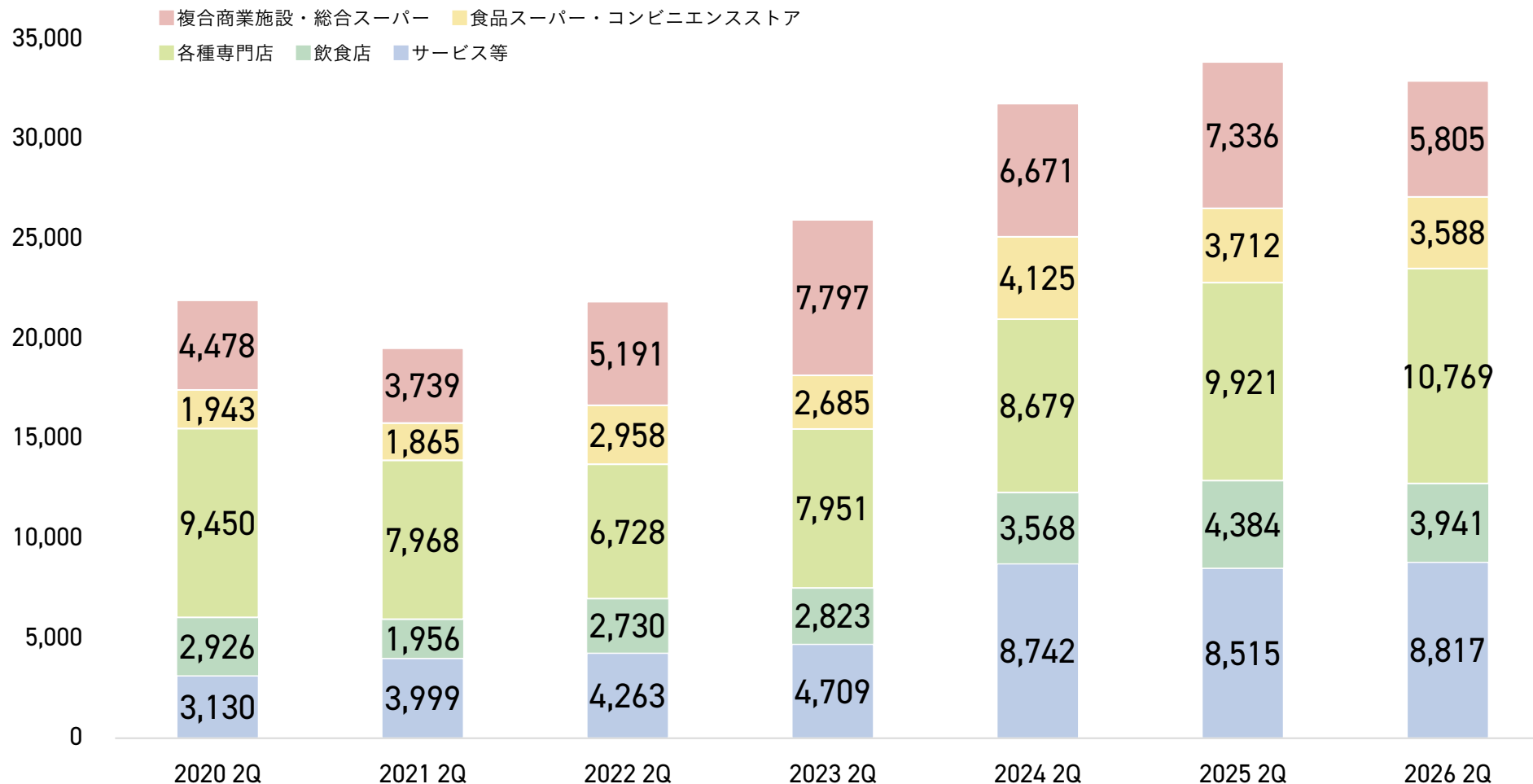
飲食店



売上高推移（市場分野別）

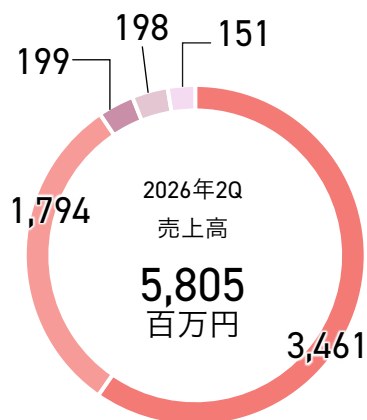
服飾雑貨店において大型旗艦店やハイブランド案件を複数手掛けたことに加え、
ドラッグストアの新装・改装案件の増加により各種専門店分野が伸長
医療・福祉施設の大型案件に加え、ホテルにおける改装案件の増加でサービス等分野が堅調に推移

（単位：百万円）



売上高（市場分野別）

複合商業施設
総合スーパー

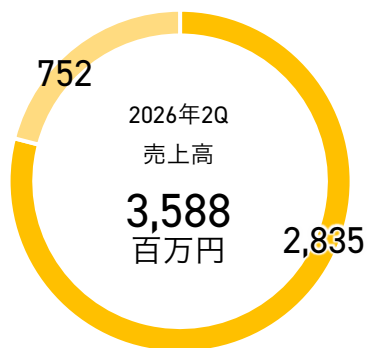


■ 商業施設 ■ 総合スーパー
■ 百貨店 ■ 交通付帯施設
■ その他

前年同期比
△20.9%

構成比
17.6%

食品スーパー・
コンビニエンスストア



■ コンビニエンスストア
■ スーパーマーケット

前年同期比
△3.3%

構成比
10.9%

各種専門店



■ 服飾雑貨 ■ 衣料品
■ インテリア ■ ドラッグストア
■ 食物販 ■ その他

前年同期比
+8.5%

構成比
32.7%

飲食店



前年同期比
△10.1%

構成比
12.0%

サービス等



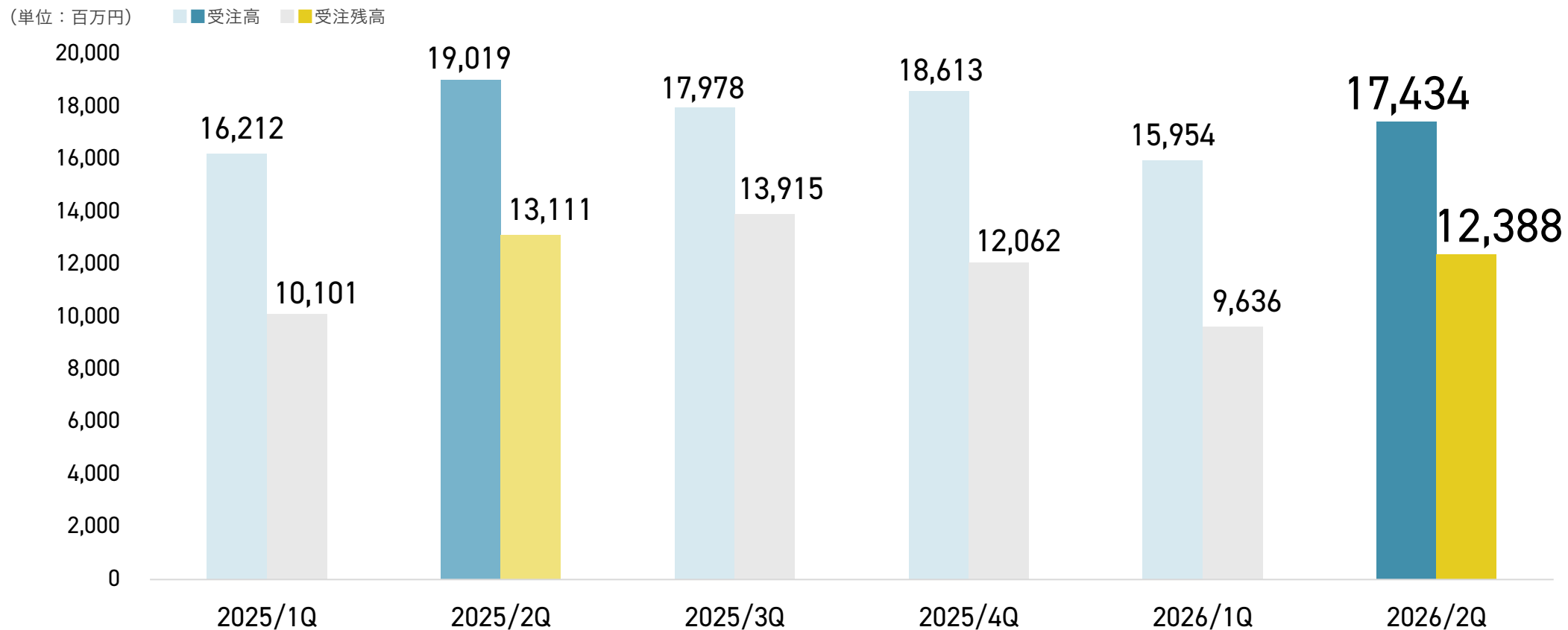
■ オフィス ■ ホテル
■ 医療・福祉施設 ■ スポーツ
■ 学習・教育 ■ その他

前年同期比
+3.5%

構成比
26.8%

四半期受注高・受注残高推移

国内は堅調に推移している一方、海外子会社において前年同期の受注高が高水準であった影響により、四半期受注高は前年同期比8.3%減少、四半期受注残高は前年同期比5.5%減少



市場分野別受注残高

受注環境は総じて堅調であり、来期以降につながる案件も順調に進捗

市場分野		2025年2Q		2026年2Q	
		金額（百万円）	構成比（％）	金額（百万円）	構成比（％）
■	複 合 商 業 施 設 総 合 ス ー パ ー	3,281	25.0	2,645	21.3
■	食 品 ス ー パ ー コ ン ビ ニ エ ン ス ス ト ア	398	3.0	1,136	9.2
■	各 種 専 門 店	3,210	24.5	2,856	23.1
■	飲 食 店	1,834	14.0	1,492	12.0
■	サ ー ビ ス 等	4,386	33.5	4,256	34.4
合 計		13,111	100.0	12,388	100.0



受注案件の状況

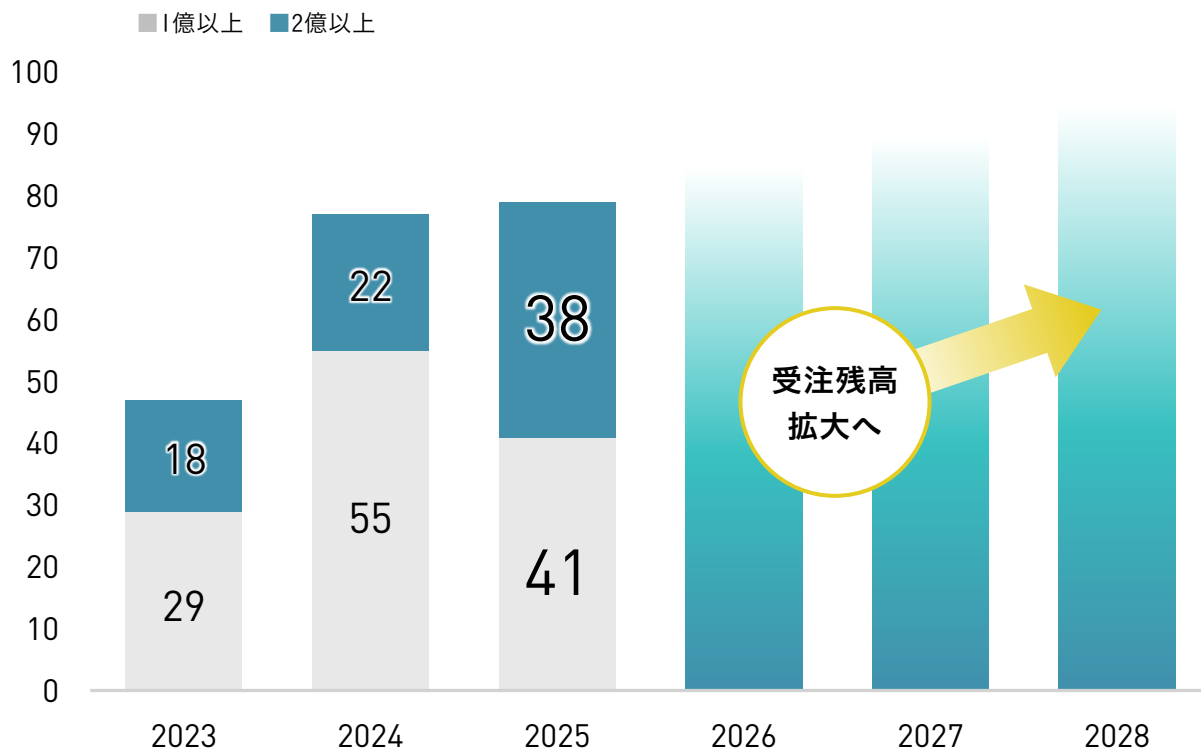
旗艦店やハイブランド案件で各種専門店分野の受注が好調に推移
ホテルや医療・福祉施設などサービス等分野でも大型案件の受注を着実に獲得



受注案件の状況

高い継続性と特命比率を強みに大型案件の引き合いが拡大
全国で進む新設・大規模リニューアルをトータル受注し、受注残高の拡大を目指す

大型案件の受注件数推移



2027年以降の大型案件の特徴

- 商業・オフィス・公共／交通など、
大型施設の 新設＋大規模リニューアルが進行
- 企画コンサルティング・設計・施工、
内装監理業務までトータル受注

受注の安定性・継続性

継続顧客売上高比率
80%超

特命比率
75%超

事業の成長に向けて

川上から施設づくりを構想する「企画提案力」と、現場を担う「現場実装力」を高め、持続的な企業成長を実現する

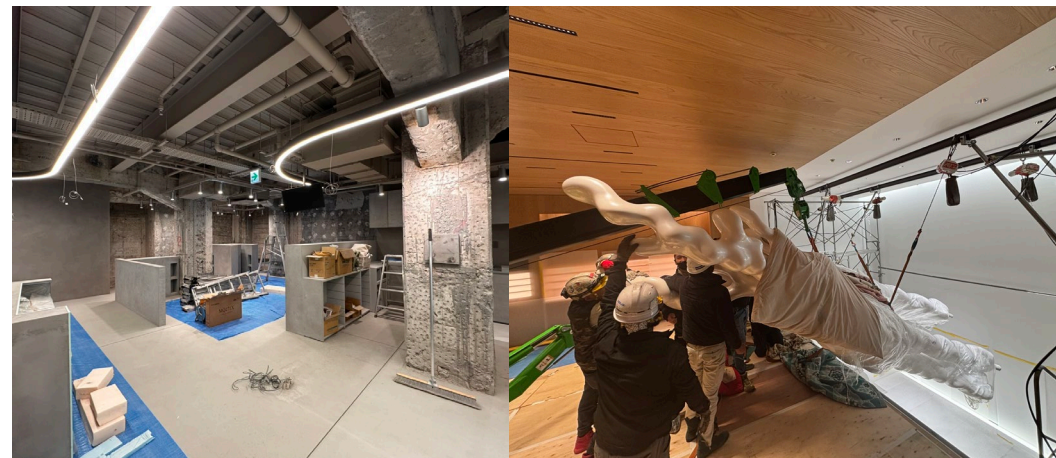


▶ 受注残拡大に向け、空間づくりを川上から支援できる体制へ

▶ 大型かつ高度な案件に対応できる、ものづくりの基盤を強化



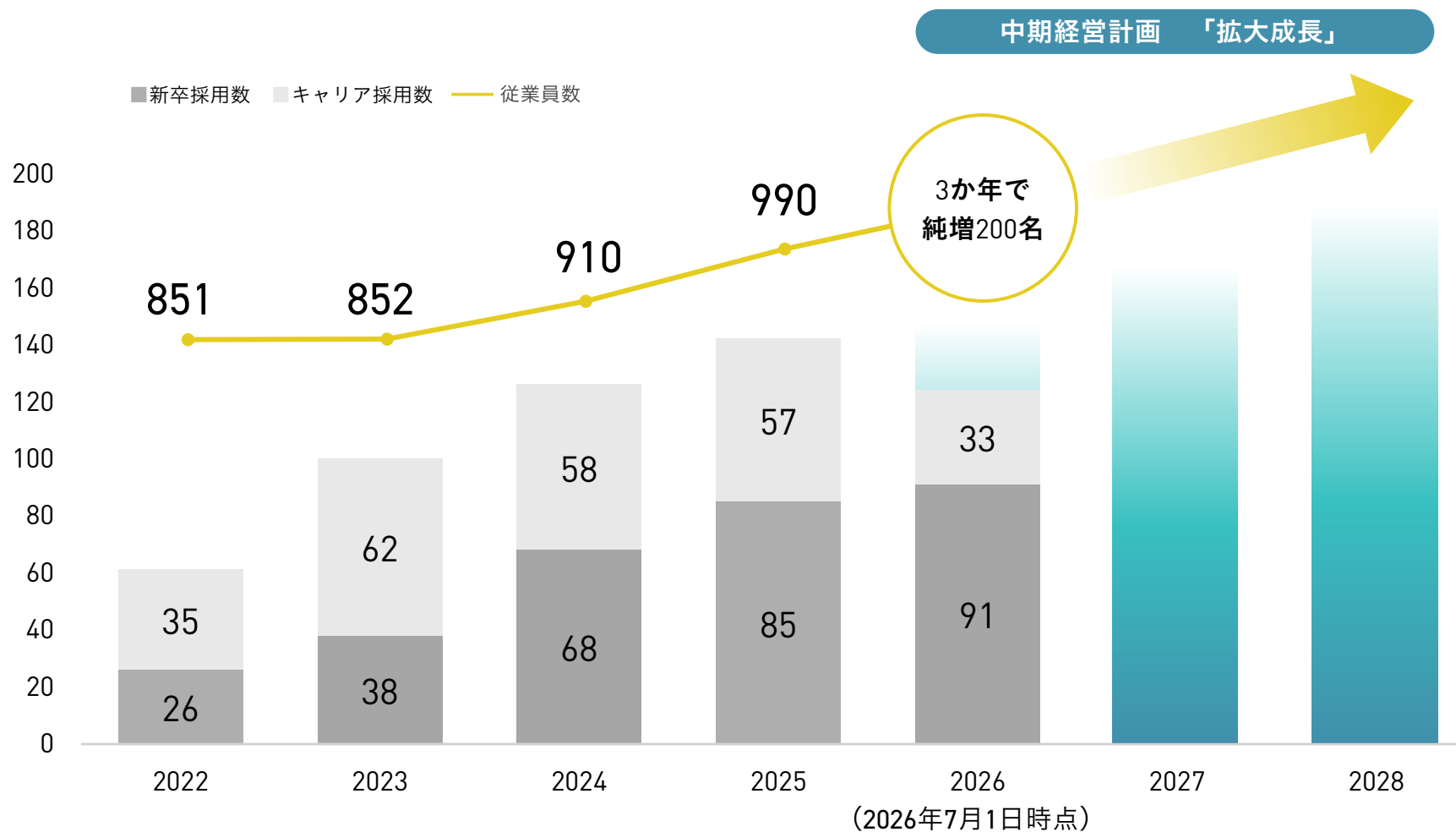
※大規模複合開発・まちづくりに計画段階から参画（写真はイメージ）



※現場イメージ

事業の成長に向けて

受注残高の拡大と企画提案力・現場実装力の向上を支える人材を着実に確保・育成し持続的な成長へ





第3部

2026年度 業績予想

- 21 2026年度 上期実績
- 22 2026年度 業績予想
- 23 配当予想

2026年度 上期実績

収益力向上により各段階利益は計画を上回って推移
事業領域拡大および人材体制の強化など成長基盤の整備も進展

	2026年度 第2四半期（中間期） 期初計画(百万円)	2026年度 第2四半期（中間期） 実績(百万円)	増減額(百万円)	増減率（％）
売上高	35,600	32,923	△2,676	△7.5
営業利益	2,500	2,722	222	8.9
経常利益	2,500	2,752	252	10.1
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,600	1,866	266	16.7
1株当たり中間純利益（円）	65.24	76.04		

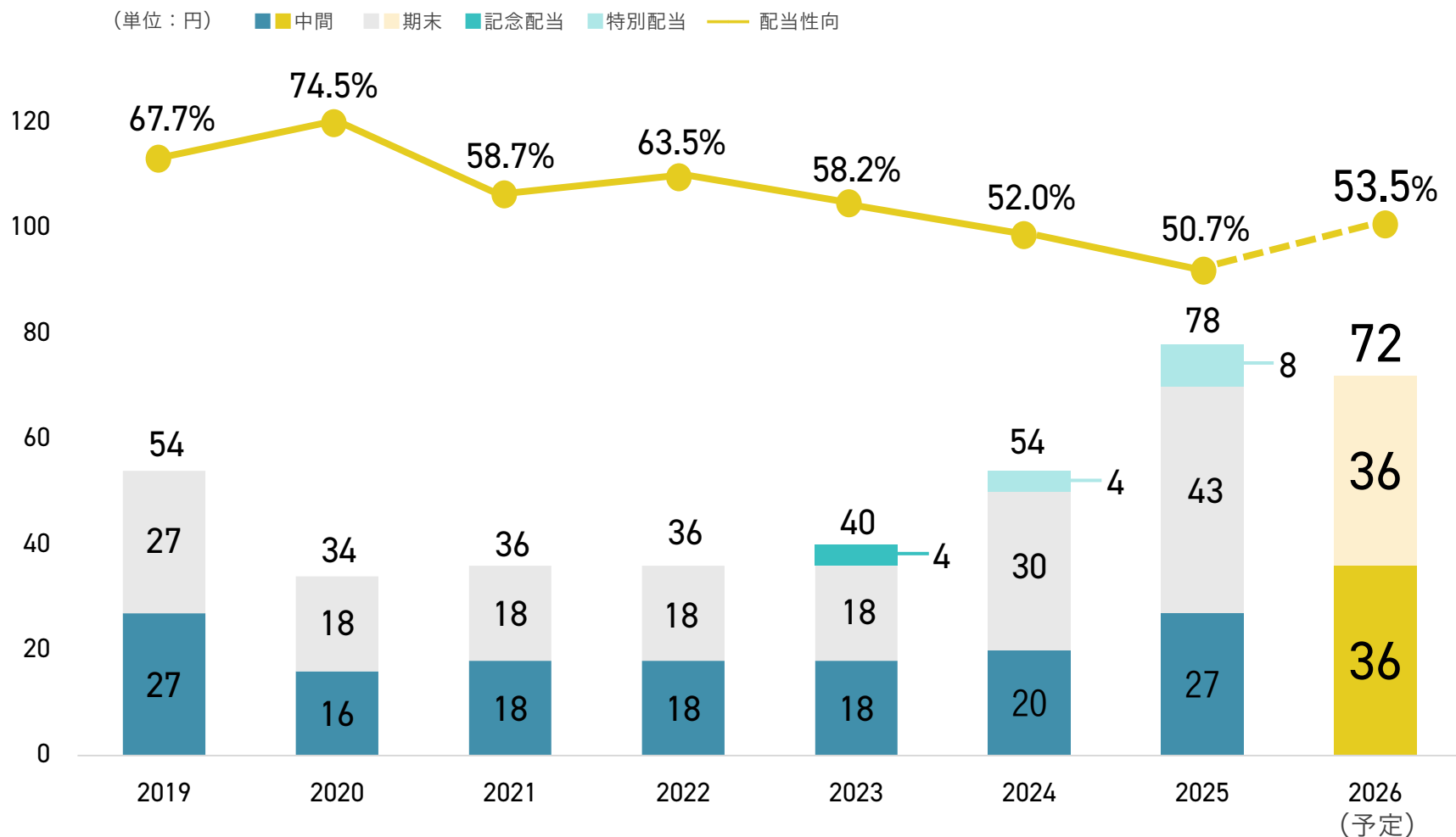
2026年度 業績予想

営業利益は堅調に推移しており、計画達成およびさらなる積み上げを目指す
一方、当期純利益の減少は、前期に適用された賃上げ促進税制による法人税軽減の反動によるもの

	2025年度 通期実績(百万円)	2026年度 通期予想(百万円)	増減額(百万円)	増減率 (%)
売上高	71,511	72,000	488	0.7
営業利益	4,830	5,040	209	4.3
経常利益	4,879	5,040	160	3.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,770	3,300	△470	△12.5
1株当たり当期純利益 (円)	153.76	134.57		

配当予想

当期配当額は72円を下限とし、業績に応じた株主還元を目指す
配当に加え、自己株式取得をはじめとする資本効率の向上を継続的に検討していく



※2023年は記念配当4円、2024年は特別配当4円、2025年は特別配当8円を含みます

参考資料



2026年2Q実績 損益計算書

	2025年2Q		2026年2Q		前年同期比	
	金額（百万円）	構成比（％）	金額（百万円）	構成比（％）	増減額（百万円）	増減率（％）
売上高	33,870	100.0	32,923	100.0	△946	△2.8
売上原価	29,566	87.3	28,739	87.3	△827	△2.8
売上総利益	4,303	12.7	4,183	12.7	△119	△2.8
販管費	1,631	4.8	1,460	4.4	△170	△10.4
営業利益	2,672	7.9	2,722	8.3	50	1.9
営業外損益	14	0.0	29	0.1	15	105.5
経常利益	2,686	7.9	2,752	8.4	65	2.4
特別損益	-	-	22	0.1	22	-
法人税等	889	2.6	913	2.8	23	2.7
非支配株主に帰属する中間純利益	9	0.0	△4	0.0	△14	△149.4
親会社株主に帰属する中間純利益	1,787	5.3	1,866	5.7	79	4.4

2026年2Q実績 貸借対照表

	2025年度		2026年2Q		前年末比	
	金額（百万円）	構成比（％）	金額（百万円）	構成比（％）	増減額（百万円）	増減率（％）
流動資産	31,201	69.1	29,960	67.7	△1,241	△4.0
固定資産	13,931	30.9	14,270	32.3	338	2.4
資産合計	45,133	100.0	44,230	100.0	△902	△2.0
流動負債	9,554	21.2	7,822	17.7	△1,731	△18.1
固定負債	662	1.5	758	1.7	96	14.5
負債合計	10,216	22.6	8,581	19.4	△1,635	△16.0
純資産合計	34,916	77.4	35,649	80.6	732	2.1
負債・純資産合計	45,133	100.0	44,230	100.0	△902	△2.0

2026年2Q実績 キャッシュ・フロー計算書

	2025年2Q	2026年2Q	前期比
	金額（百万円）	金額（百万円）	増減額（百万円）
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,378	3,582	204
投資活動によるキャッシュ・フロー	△235	952	1,188
財務活動によるキャッシュ・フロー	△833	△1,247	△413
現金及び現金同等物の増減額	2,282	3,304	1,021
現金及び現金同等物の期首残高	13,460	13,544	84
現金及び現金同等物の期末残高	15,742	16,849	1,106

私たちについて

SLOGAN

明日が、笑顔になる空間を。

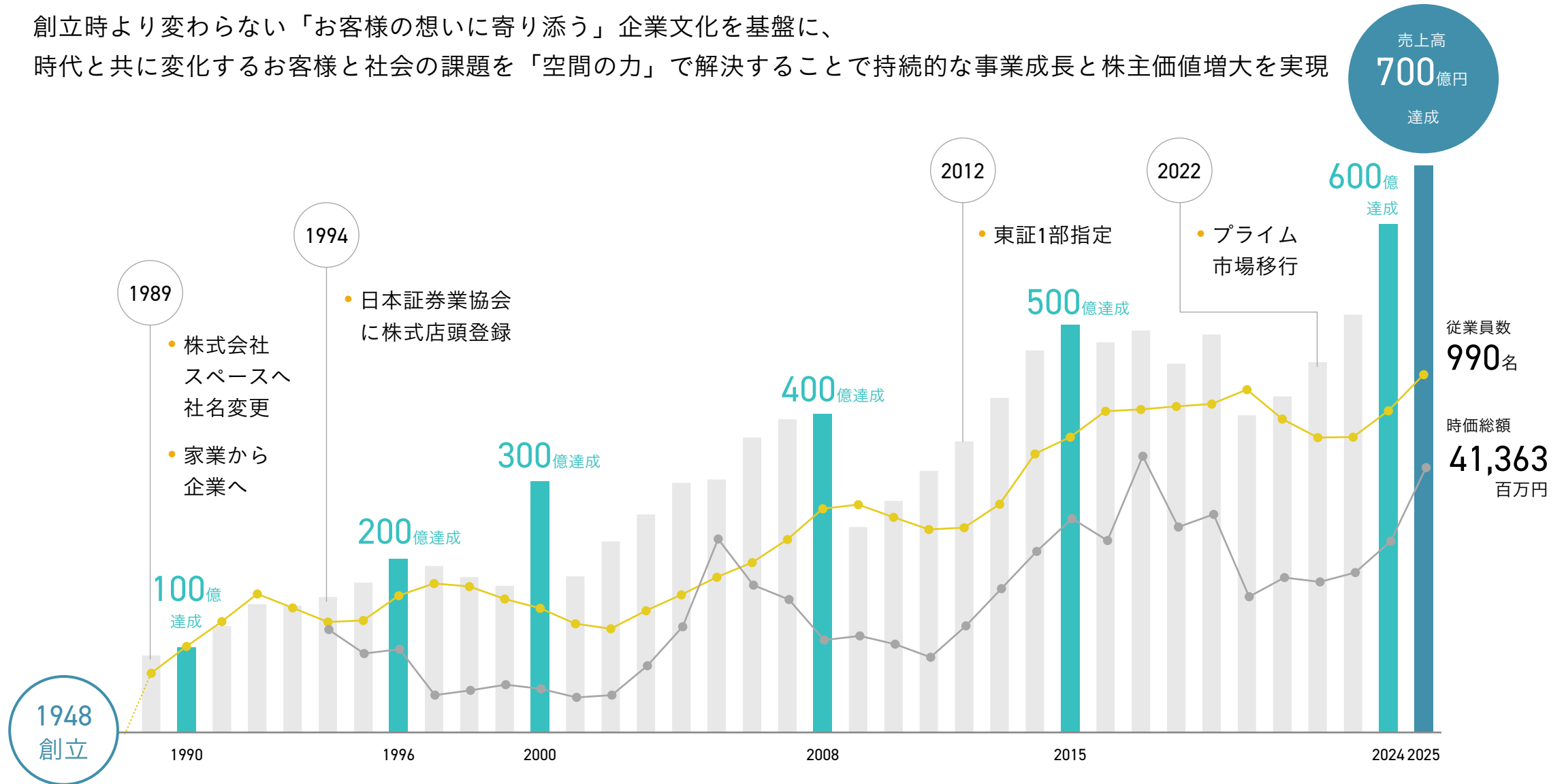
1948年の創立以来、商空間を通じてお客様の想いを実現してきました。

多彩な空間づくりの中で得た、企画からデザイン、設計、施工の豊富な経験と
ノウハウを活かし、お客様のビジネスの成功と、豊かな社会の実現に貢献してまいります。



成長の軌跡

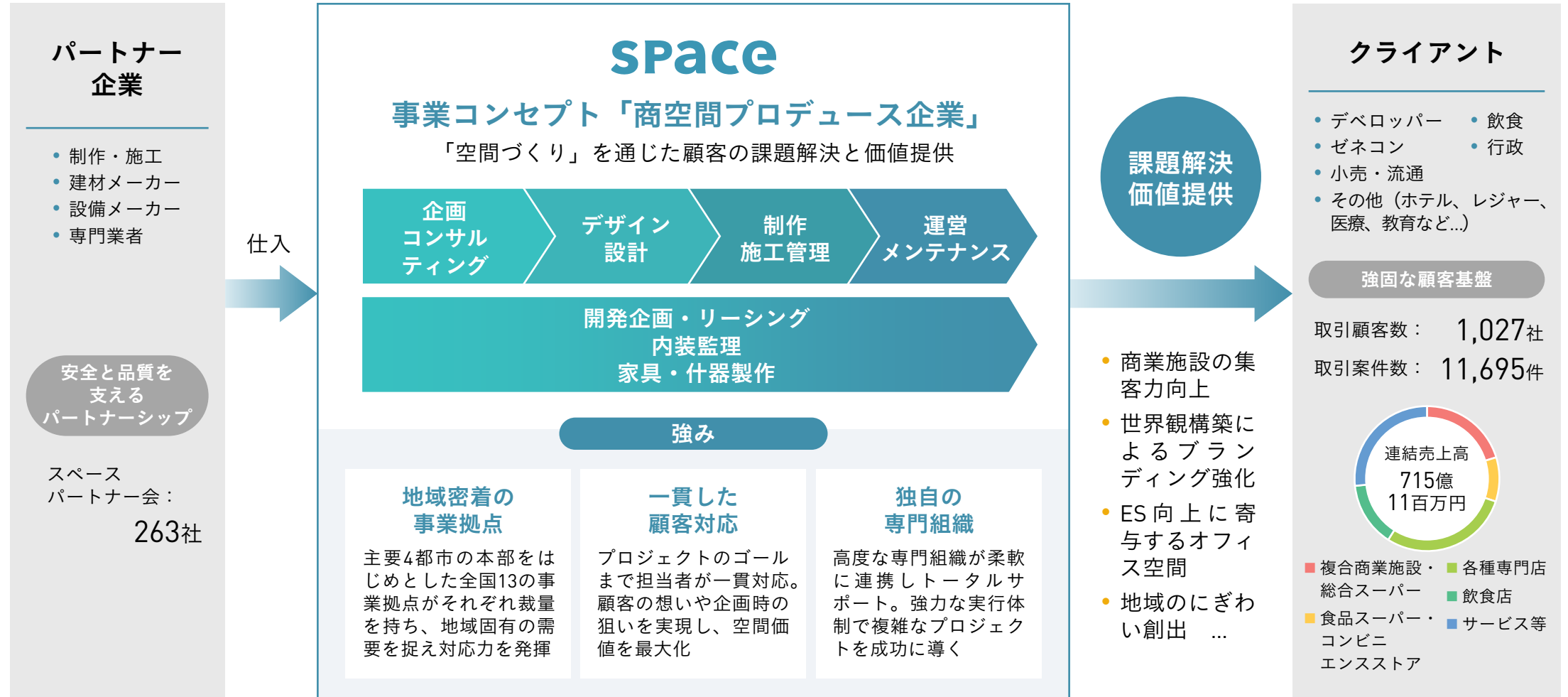
創立時より変わらない「お客様の想いに寄り添う」企業文化を基盤に、
時代と共に変化するお客様と社会の課題を「空間の力」で解決することで持続的な事業成長と株主価値増大を実現



※各年度末における時価総額（自己株式を含む）、従業員数

ビジネスモデル

企画からメンテナンスまで自社で担える「一貫体制」により、顧客の想いを全工程を通して実現
深い関与を通じて信頼関係を築き、「空間づくり」を通じた顧客の課題解決と価値提供を行うことで、事業の付加価値を最大化



※2025年度末時点

※2025年度実績

商空間プロデュース企業

未来の「まち・みせ・ひと」を想いながら、空間の新しい価値を追求します。

全国の事業拠点	主要4都市の本部をはじめとした全国13の事業拠点 →本部ごとに裁量を持ち、独自の色で地域に密着した対応力を発揮
一貫した顧客対応	打ち合わせ～デザイン・設計～施工管理～引き渡しまで一貫した顧客対応 →お客様の想いに寄り添い、最適な空間を追求
強固な顧客基盤	全国ナショナルチェーンを中心とした強固な顧客リレーションシップ →商業施設分野での圧倒的な知見
独自の専門組織	自社内の専門組織【開発本部／内装監理本部／自社工場】 →それぞれの専門性を高めながら、組織を越えて柔軟に連携

商空間の創造を通じて、豊かな社会の実現に貢献します。

SLOGAN

明日が、笑顔になる空間を。

VISION

世の中を、希望にあふれた空間にする。

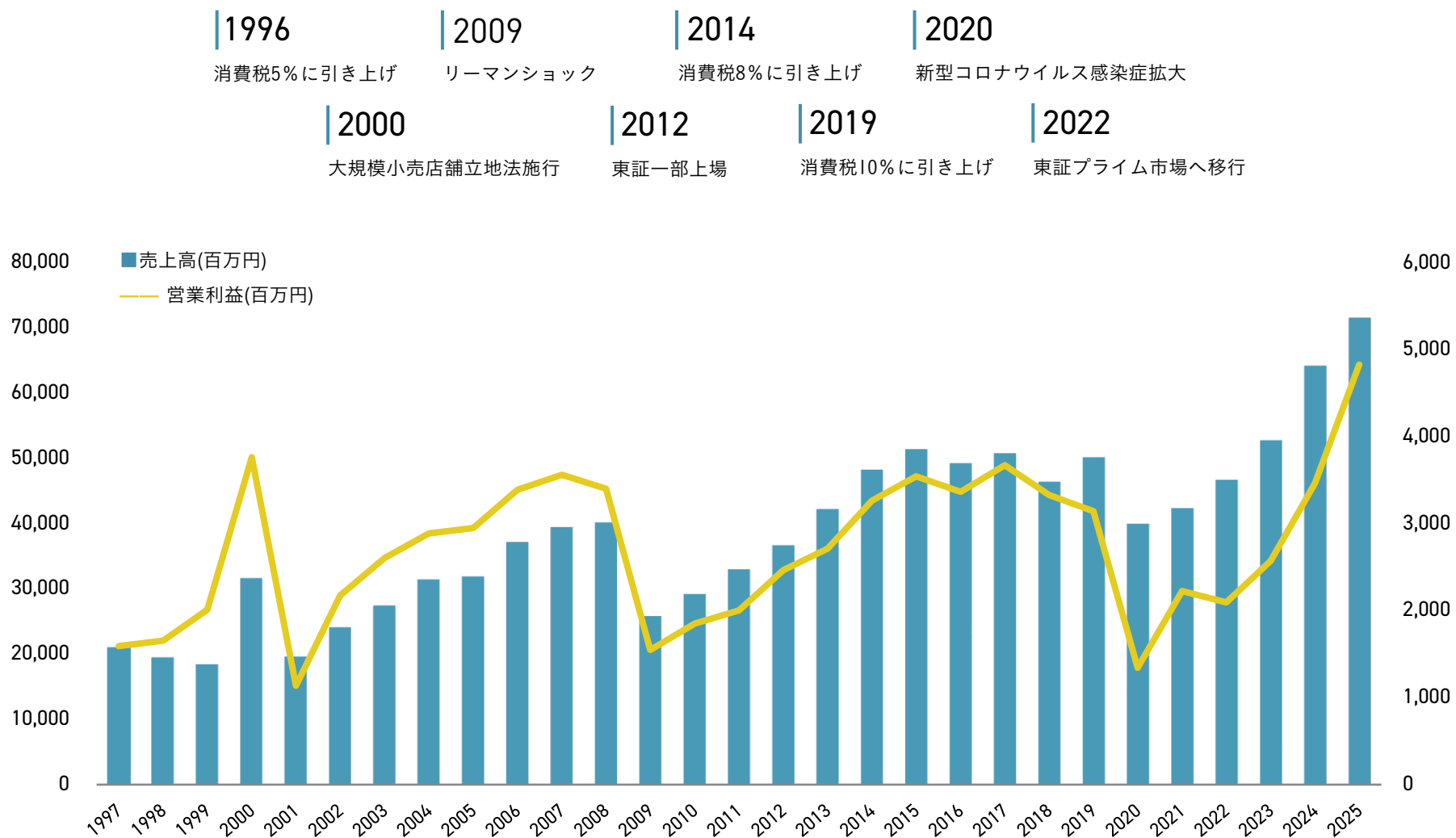
MISSION

空間の可能性を追求する。

VALUE

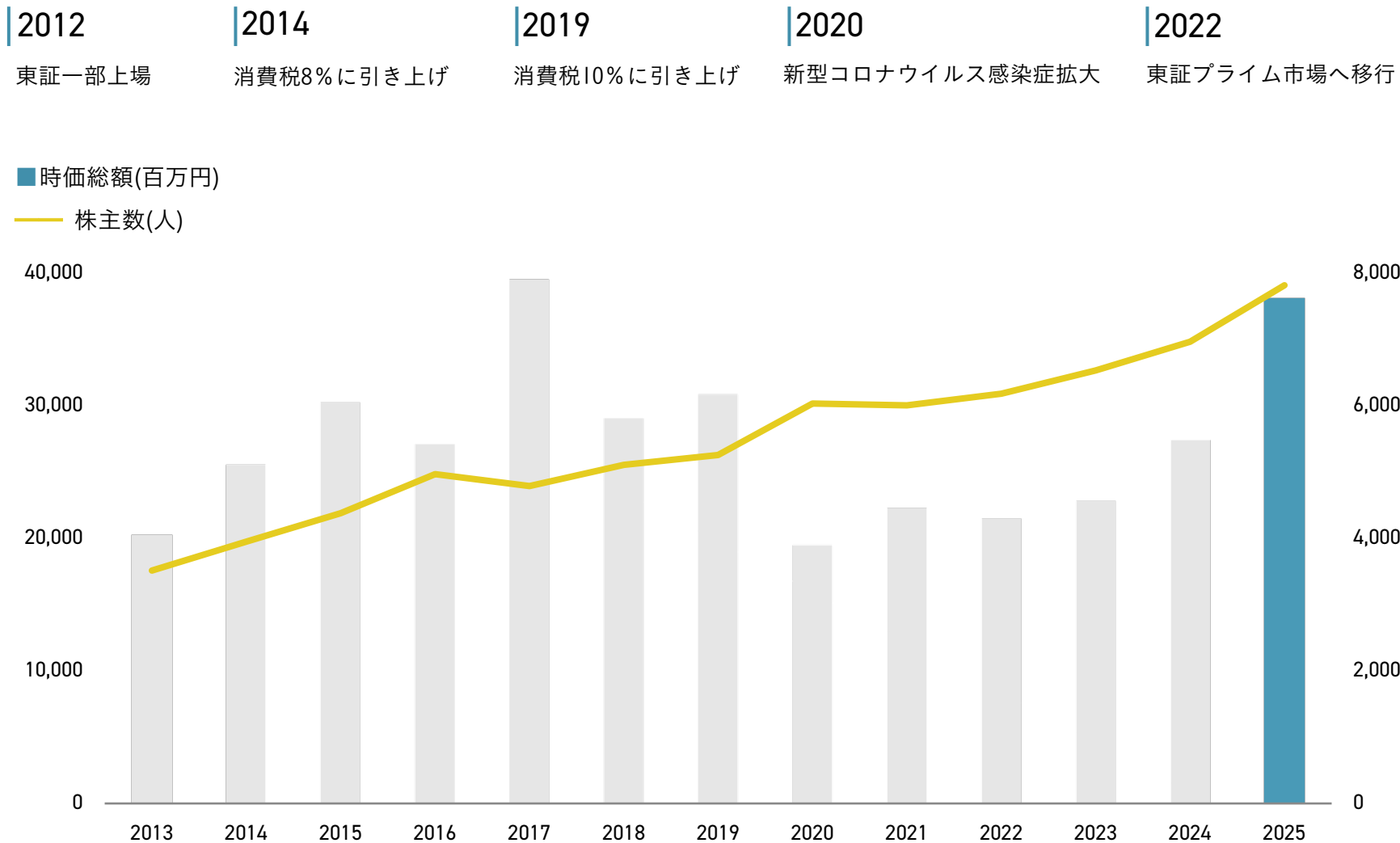
お客様と、同じ想いで共に創る。

売上高及び営業利益推移



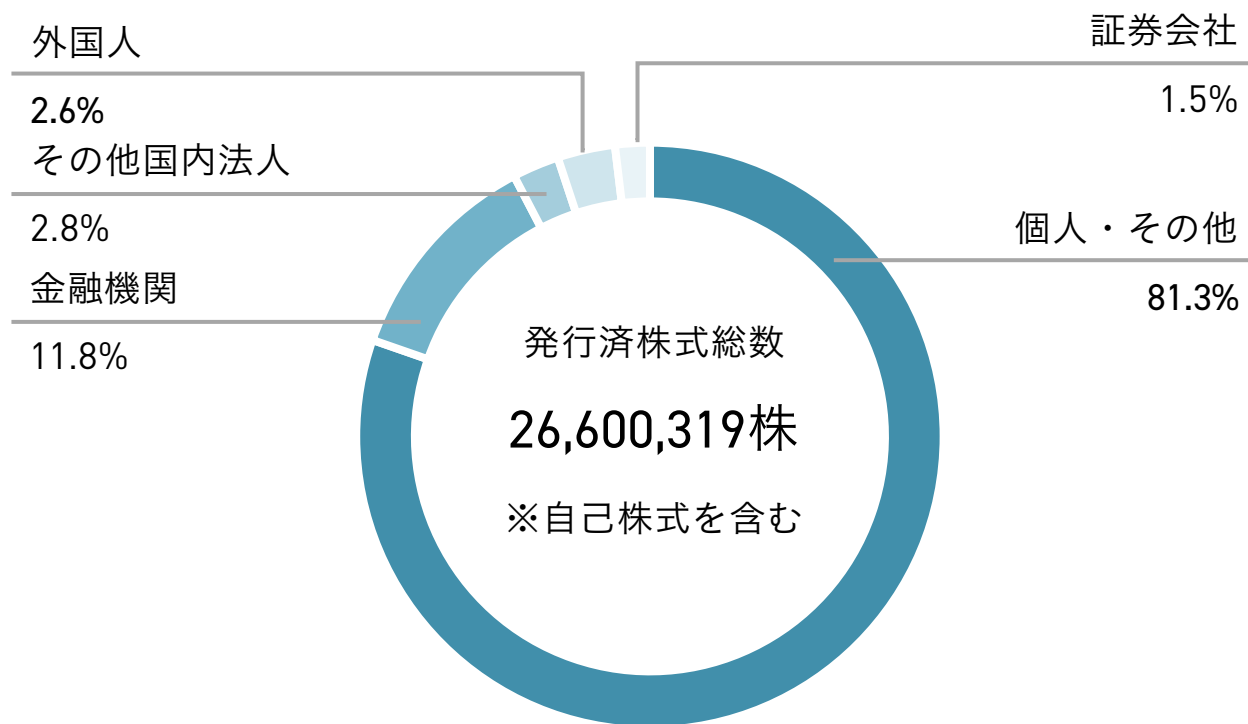
※当社は2019年度より連結決算を開始したため、2018年度以前は単体数値を掲載しております
 ※2024年については、会計方針の変更に伴い、遡及適用後の数値を記載しております

時価総額及び株主数推移



※各年度末における時価総額、株主数
※自己株式を除く

株主構成



個人・その他	8,107名	21,641,385株
金融機関	12名	3,119,826株
その他国内法人	101名	739,748株
外国人	114名	698,060株
証券会社	27名	401,300株
	8,361名	26,600,319株

※2026年6月末時点

会社概要

商 号	株式会社スペース SPACE CO., LTD.
創 立	1948年（昭和23年）7月
上 場	東京証券取引所プライム市場（証券コード:9622）
資本金	33億9553万円
従業員数	連結：1,053名 単体：1,025名（2026年6月末時点）
グループ会社	4社
事業拠点	国内12拠点
事業内容	ディスプレイ業 商業施設・文化施設・娯楽施設・イベント空間の 企画・コンサルティング・設計・監理および施工
決算期	12月31日

明日が、笑顔になる空間を。

SPaCe

IRに関するお問い合わせ

経営統括本部 広報部 | ir_info@space-tokyo.co.jp

本資料には、現時点で入手可能な情報に基づいた将来に関する見通し、計画に基づく予測が含まれています。社会・経済・業界状況の変動等に関するリスクや不確定要素により実際の業績が記載の予測と異なる可能性がありますことをご了承ください。